

事業概要

1. 事業目的

東北大学病院は宮城県唯一の特定機能病院であり、地域医療構想・地域医療計画において高度先進医療を提供する責務を担っている。

本事業は「東北大学病院施設整備計画」に則り、築36年を超えて老朽化が著しい中央診療棟の手術室を東病棟へ機能移転し、より安全で安心、低侵襲で最先端の医療を提供可能な環境を整え大学病院の機能強化を図る整備である。

2. 事業規模等

- ・建物名称：東病棟
- ・建築年：2006年
- ・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・規模：地上18階地下2階建て 延べ面積37,044㎡
- ・改修内容：2階、3階で700㎡程度の内装改修

(建築設計と電気・機械設備設計は分離発注)

3. 基本整備方針

- ・新型コロナをはじめとした新興感染症や耐性菌への対応、高齢化や結核患者増加のため、感染症対応手術室（陰圧・前室機能）と単独の患者搬送動線などが必要。一方で、通常時は一般手術室として使用することとし、スペースやコスト（整備費、維持費）の最適化を図る。
- ・改修整備期間中の工事による騒音や振動、ライフラインの制限は必要最小限とし、診療行為等への影響を抑制する。
(3階の改修中も上下階では診療行為および教育・研究活動を行っている。)
- ・環境に配慮した技術を利用し、施設の維持管理コストの低減を図る。